



日本生涯スポーツ学会
Japanese Society of Lifelong Sports

News Letter

2025 MAY

【 目 次 】

- 会長挨拶
- 日本生涯スポーツ学会第 26 回大会の報告
- 日本生涯スポーツ学会第 26 回大会【学生訪問記】
- 日本生涯スポーツ学会第 27 回大会の案内
- 委員会からのお知らせ
- 事務局からのお願いとお知らせ
- 新入会員紹介

『会長挨拶』

日本生涯スポーツ学会 会長 仲野 隆士



皆様、お元気でお過ごしのことと存じます。

パリオリンピック・パラリンピックが華やかに開催された昨年の秋(10月26・27日の2日間)、流通科学大学を会場に本学会大会が開催されました。第26回大会実行委員会が設定した「生涯スポーツを通じたDE&Iの実現に向けて」と題する大会テーマは、重要な問題・課題を含んだ興味深いテーマでした。私も会長講演として、話題提供をさせていただきました。大会前日の25日に実施されたスチュードントセミナーの後半を見学したところ、参加された38名の院生・学部生をランダムな6グループに分け「神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会のレガシーをどのように継承していくべきか」に関して3つか4つの観点でまとめるGWを実施し、代表者が発表しモデレーター・ファシリテーターがまとめるという形で展開されていました。各グループがまとめた発表資料は、学会初日の晩の懇親会会場でお披露目もされました。学生間の交流も深まる実に意義深いセミナーでした。26日の基調講演では「アシックスが取り組むパラスポーツを通じたDE&Iの推進」が紹介され、シンポジウムでは「パラスポーツが繋ぐDE&Iの未来:産官学民の融合」がテーマで、大会組織側・企業側・選手側からお三方に登壇され議論を深めていただきました。翌27日の研究セミナーでは「ジェンダーの視点から見るスポーツリーダーシップ」と題し、興味深い国内外における研究動向が紹介されました。会実行委員長の流通科学大学の山口志郎先生を中心に、実行委員会の皆様方による内容の濃い素晴らしい学会大会が運営されたことに感謝しています。

さて、生涯スポーツの土台を築く青年期ですが、部活動の地域移行の行方が気にかかります。部活動を単に学校教育から社会教育に移行するだけでは、問題は解決しないでしょう。ヨーロッパ諸国のクラブは100人単位(300~900人程度)で1クラブが存在しているのに対し、日本は3,500人に1クラブ(総合型地域スポーツクラブ)となっているのが現状ですから、この状況での地域移行は相当難しいように思えます。一方、OECDやEU諸国と比較した場合、日本の教員の勤務時間は長く、公的支出総額が低い事は事実ですし、国のスポーツ関連予算の割合も競技スポーツが大きな比率を占め学校体育や生涯スポーツの比率が低いという現状も改善されなければならないのではないのでしょうか。地域移行が難しいのであれば、外部指導者の積極的活用や部活動指導員としてのAT(アスレティックトレーナー)の活用といった指導対象者の枠組みを広げる、さらに部員たちによるICTの積極的活用といった創意工夫が今まで以上に求められるでしょう。

最後に、2025(R7)年度の本学会大会ですが、11月の最終週の週末に順天堂大学を会場に実施する予定で、大会実行委員会が準備を進めてくださっております。発表の有無を問わず、多くの皆様の参加を期待しております。

日本生涯スポーツ学会第26回大会のご報告

2024年10月26日(土)から27日(日)にかけて、日本生涯スポーツ学会第26回大会を流通科学大学で開催しました。多くの会員の皆様にご参加いただき、無事に成功裏に終えることができました。ここに、実行委員会を代表して心より御礼申し上げます。

日本生涯スポーツ学会第26回大会実行委員会
委員長 流通科学大学 教授 山口 志郎

<大会概要>

- 期日: 2024年10月26日(土)~10月27日(日)
 - * 10月25日(金)はスチューデントセミナー開催
- 場所: 流通科学大学
- 主催: 日本生涯スポーツ学会
- 共催: 学校法人中内学園 流通科学大学、神戸商工会議所 神戸スポーツ産業懇話会
- 主管: 日本生涯スポーツ学会第26回大会実行委員会
 - 実行委員長: 山口 志郎(流通科学大学)
 - 副委員長: 青山 将己(流通科学大学)
 - 委員: 伊藤 克広(兵庫県立大学)、内田 遼介(流通科学大学)、高橋 宏斗(流通科学大学)
 - 常行 泰子(神戸市外国語大学)、与那覇 秀勲(流通科学大学)
- 協賛企業・団体・大学(10団体):
 - セノ一株式会社、株式会社ラーベン・アンド・ニールセン、株式会社染野製作所
 - 公益財団法人宍川スポーツ財団、公益財団法人日本スポーツクラブ協会
 - 有限会社市村出版、順天堂大学、流通科学大学、東海大学、大阪体育大学
- 大会テーマ: 生涯スポーツを通じた DE&I(Diversity, Equity & Inclusion)の実現に向けて
- 【大会日程】

1日目		2日目	
10:00~10:15	開会式	9:00~10:00	若手研究発表、口頭発表
10:20~10:50	会長講演	10:00~11:20	口頭発表
11:00~12:00	基調講演	11:30~12:30	研究セミナー
13:00~14:30	お昼休み	12:30~13:30	お昼休み
14:40~16:00	シンポジウム	13:30~14:30	総会、エクスカーション
16:10~17:40	若手研究発表、口頭発表	14:30~15:00	閉会式
17:45~19:45	ポスター発表		

*前日、スチューデントセミナーを開催

- 大会参加者:187名
- 発表演題数:若手発表:7題、一般口頭発表:18演題、ポスター発表:24題(うち学部生発表:17題)、
計49題

1. 会長講演

テーマ:スポーツに対するサイレントマジョリティー層への生涯スポーツ指導者のアプローチについて
講演者:仲野 隆士(仙台大学 教授)

2. 基調講演

テーマ:アシックスが取り組むパラスポーツを通じた DE&I の推進
講演者:大谷 忍(株式会社アシックス パラスポーツ企画部 部長)
モデレーター:常行 泰子(神戸市外国語大学 外国語学部 准教授)

3. シンポジウム

テーマ:パラスポーツが繋ぐ DE&I の未来:産官学民の融合
パネリスト:丹沢 靖(神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会事務局 次長:
神戸市文化スポーツ局 部長)
鳥山 聰子(株式会社ブリヂストン オリンピック・パラリンピック推進課長)
笠本 明里(パラ水泳選手:株式会社大塚商会)
モデレーター:金山 千広(立命館大学 産業社会学部 教授)
ファシリテーター:山口 志郎(流通科学大学 人間社会学部 教授)

4. 会員発案企画

テーマ:大学における生涯スポーツ振興に関する活動を継続・発展させる工夫を考える
パネリスト:久保田 晃生(東海大学 体育学部 生涯スポーツ学科 教授)
知念 嘉史(東海大学 体育学部 生涯スポーツ学科 准教授)
川邊 保孝(東海大学 スポーツプロモーションセンター 准教授)
コーディネーター:松下 宗洋(東海大学 体育学部 生涯スポーツ学科 講師)

5. 研究セミナー

テーマ:ジェンダーの観点から見るスポーツリーダーシップ
登壇者:小菅(町田) 萌(大阪体育大学 スポーツ科学部 准教授)
モデレーター:内田 遼介(流通科学大学 人間社会学部 准教授)

6. エクスカーション

テーマ:パラスポーツを体験しよう!
高橋 宏斗(流通科学大学 人間社会学部 専任講師)

7. スチューデントセミナー

テーマ:神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会のレガシーをどのように継承していくべきか
登壇者:高松 祥平(神戸親和大学 教育学部 教授)
モデレーター:青山 将己(流通科学大学 人間社会学部 専任講師)
ファシリテーター:松崎 淳(九州共立大学 スポーツ学部 講師)
山北 隆太郎(和歌山大学 国際観光学研究センター 助教)

■ 表彰**○ 若手優秀発表賞**

小木曾 洪(東洋大学)

アスリートアドボカシーの説得効果の持続性～サーベイ実験による検証～

○ ポスター発表賞（大学院生部門）**【最優秀賞】**

端岡 里紗(大阪体育大学大学院)・小菅 萌(大阪体育大学大学院)

スポーツ場面における自信の情報源と自信について～ジェンダーによる違いの検討～

【優秀賞】

黒田 佳代(中京大学大学院)・來田 瞩子(中京大学)

男女共習におけるトランス・インクルーシブな体育授業に向けて教員が直面する課題～3名の教員への
インタビュー調査から～

○ ポスター発表賞（学部生部門）**【最優秀賞】**

水野 凪紗・記藤 陽亘・松野 有沙・渡邊 碧(神戸大学国際人間科学部 3年)・

三浦 敏太(神戸大学大学院人間発達環境学研究科)・長ヶ原 誠(神戸大学)

スポーツ参画が主観的気力年齢に及ぼす影響～年代・性別に着目して～

【優秀賞】

後藤 優風・崎田 七海・後藤 優妃乃・大野 夏実・滝藤 悠馬・伊藤 菜結(中京大学スポーツ科学部
3年)・叢 瑉(中京大学大学院スポーツ科学研究科)・伊藤 央二(中京大学)

名古屋グランパスの食育活動が食生活に及ぼす影響

【奨励賞】

橋本 陽也・藤澤 凜・向井 雛・小倉 碧泉・岸田 楓・島田 麻帆(中京大学スポーツ科学部 3年)・
太田 明李(中京大学大学院スポーツ科学研究科)・伊藤 央二(中京大学)

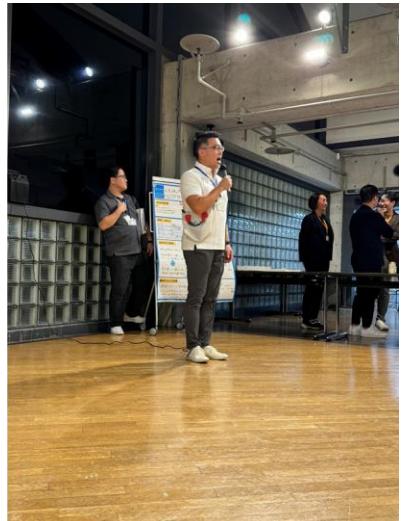
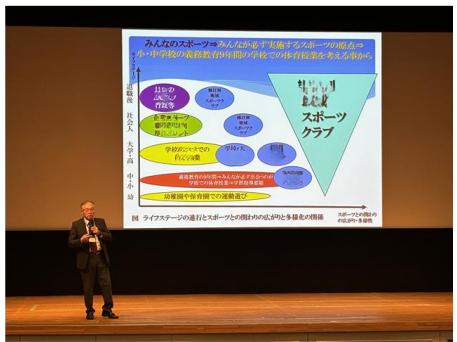
名古屋グランパスファンの個人属性および地域愛着とスタジアム食品ロス削減意識の関連性

奥村 直・井上 大輝・佐藤 未奈・雪山 琴未・生田 彩佳(中京大学スポーツ科学部 3年)・

叢 瑉(中京大学大学院スポーツ科学研究科)・伊藤 央二(中京大学)

エンブレムへの誇りとチームアイデンティフィケーションの関係性～名古屋グランパスの新エンブレムを
事例として～

大会の様子①



大会の様子②



撮影(広報委員会:松崎・岡安)

■ 日生涯スポーツ学会第26回大会【学生訪問記】

日本生涯スポーツ学会第26回大会の発表を終えて

松岡 桜太朗

(愛知東邦大学人間健康学部3年:当時)



私たち愛知東邦大学松村ゼミの3年生は今回初めて学会への参加、発表でした。私たちは「駅スポ！！in 藤が丘におけるイベント参加者の参加動機、満足度、再参加意図の関係性」という内容で発表を行いました。駅スポとは愛知東邦大学と藤が丘商店街組合が共催で行っている地域活性化を目的としたスポーツイベントで、実際にイベント会場に出向きアンケート調査を実施しました。調査を行う中で、本イベントに対する参加者の期待感の高さやイベントの可能性を感じることができ、研究に対する興味関心が高まりました。実際に研究を進めていく中で、再参加意図を高めるためには種目だけでなく、人的交流が求められている点や、広報およびスタッフに関する満足度が高いと再参加意図が高いという考察を導き出すことができ研究活動のやりがいを感じることが出来ました。

学会では普段聞くことのできない先生方や世界で活躍されているアスリートの方の公演を聞くことができ、大会テーマである「生涯スポーツを通じた DE & I(Diversity, Equity & Inclusion)の実現に向けて」という内容を考える良い機会となりました。また、私たちのポスター発表については、聞いてくださっている観衆の皆様に伝えることを意識し発表が出来たと思っています。ですが質疑応答の回答がうまく自分の言葉でまとめることができなかつたので、次回学会に参加する際には準備を入念に行い臨もうと思います。

今回の学会を通じ、生涯スポーツの奥深さや社会に与える影響の大きさについて知ると共に、研究活動を行う楽しさを感じることができました。また、神戸大学や九州共立大学など他大学の学生と懇親会を行うなどして、多くの刺激を得ることができました。来年度の学会では今回親睦を含めた学生たちと共にレベルアップして挑みたいと思います。



神戸ポートタワー

日本生涯スポーツ学会第26回大会の発表を終えて

千葉 春日
(九州共立大学スポーツ学部3年:当時)



私たち、九州共立大学スポーツ学部松崎ゼミナールの3年生は今回初めて学会の場でポスター発表を行いました。ゼミナール生10名を5名ずつの2チームに分けて、1つのチームは、「部活動改革を先進的に進める地方自治体と民間スポーツ施設」、もう1つのチームは、「東京オリンピック2020大会における直前合宿を受け入れた地方自治体」に着目しました。私が所属するチームでは、まず役割分担を行い、テーマに関連した先行研究を収集しました。その後は、先行研究の検討から浮かんだリサーチクエスチョンを整理し、対象者に対して調査依頼を行い、対面で半構造化インタビューを実施しました。データ収集を終え、夏休みの期間中に、学会発表に向けた1泊2日のゼミ合宿を実施し、抄録の作成やポスターレイアウトなどについて協議を行いました。

金曜日に開催されたスチューデントセミナーでは、関西を中心とした他大学の先生、学生の方たちと交流することができ貴重な経験となりました。普段、私たちが専門的に学んでいる「スポーツ×まちづくり」について様々な視点から研究が行われており、スポーツの必要性や地域や人に及ぼす影響について理解を深めることができました。また、発表の仕方やポスターの作り方などにおいても学ぶことが多く、今後の発表の際に活かしたいと思いました。

学会でのポスター発表に向けては、研究の初期の段階から円滑には進まず全ての作業において苦戦しました。特にアカデミックなポスターの作成に関する知識について、私たちは知識を有していないかったため、必要な情報を見やすくわかりやすくまとめるために非常に苦戦しましたが、指導教員の指導のもと、なんとか学会当日にポスター発表を行うことが出来ました。学会参加を通じて、他大学の先生や学生との交流も貴重な経験になりました。当日のポスター発表に至るまでに先行研究の調べ方や調査方法の習得、ポスターデザインの作成など、その過程から多くの経験やスキルを身につけることができたと考えています。特に、私たちは研究を進め、発表に至るまで、研究の奥深さを知り、ポスター発表で賞を受賞されていた他大学の研究内容の緻密さや基調講演などをから多くの学びがありました。

最後になりますが、福岡県の行政関係者の皆様をはじめとし、様々な関係者の方々のご協力のもと、ポスター発表を無事終えることが出来たことに感謝しています。今後は多くの先生方から頂いた意見や質問をもとにさらに研究を進め、それぞれのチームの研究の到達目標を目指していきます。

日本生涯スポーツ学会第27回大会のご案内

2025年度の学会大会は、2025年11月29日(土)～30日(日)にかけて、順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパスにおいて開催いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。

日本生涯スポーツ学会第27回大会実行委員会

大会会長 順天堂大学 スポーツ健康科学部 学部長 和氣 秀文

実行委員長 武庫川女子大学 教授 工藤 康宏

<大会概要>

【期日】:2025年11月29日(土)～30日(日) [29日9:30開会式予定、30日13:00閉会式予定]

【場所】:順天堂大学 本郷・お茶の水キャンパス

〒113-8421 東京都文京区本郷2丁目1番1号

最寄り駅:JR 御茶ノ水駅徒歩7分

東京メトロ(丸ノ内線) 御茶ノ水駅徒歩7分

東京メトロ(千代田線) 新御茶ノ水駅徒歩9分

【主催】:日本生涯スポーツ学会

【主管】:日本生涯スポーツ学会第27回大会実行委員会

【抄録締切】:2025年9月26日(金)予定

<大会テーマ>

我が国のスポーツ政策と生涯スポーツの現在地(仮)

※今後、学会ウェブサイト等で随時情報を更新してまいります。

<https://jsls.jp/taikai/yoko.html>

【編集委員会からのお知らせ】

本学会では通年で論文の投稿を受け付けております。できる限り速やかな審査を心がけて参ります。投稿の際には学会ホームページをご参照いただいた上で原稿の執筆をお願いいたします。

皆さまのご投稿をお待ちしております。

【研究企画委員会からのお知らせ】

第79回日本体力医学会大会が9月17日(水)～19日(金)に、立命館大学びわこ・くさつキャンパス(大会長:田畠 泉先生)で開催されますが、本学会との合同シンポジウムを企画する運びとなりましたので、会員の皆さまにお知らせ致します。

* * * * *

「日本生涯スポーツ学会合同企画」シンポジウムタイトル

健康づくりを支える歩数の科学:これまでの知見と未来への展望

座長

久保田 晃生 先生(東海大学)

演者

山本 直史 先生(愛媛大学) 「歩数研究の歩み」

中潟 崇 先生(医薬基盤・健康・栄養研究所) 「歩数評価の精度と機種による違い:調査・研究・実践における課題と応用」

渡邊 大輝 先生(早稲田大学) 「歩数と健康アウトカムとの量反応関係」

* * * * *

本学会からは久保田先生が座長、山本先生が演者として参加されますので、会員の皆さまのご参加もお待ちしております。なお、第79回日本体力医学会大会のHPのプログラムが更新され、本シンポジウムも掲載されておりますが、会期中の具体的な日時はまだ決定されておりません。こちらの方は決まり次第、本学会HPなどでもお知らせ致します。<https://tairyoku79.com/program.html>

また、体力医学会の非会員の先生もご参加いただけますので、以下のURLをご参照の上、参加をご検討いただけますと幸いです。<https://tairyoku79.com/guide.html>

【事務局からのお願いとお知らせ】**<年会費>**

年会費の納入状況について、確認したい方は遠慮なく事務局にご連絡ください。また、本学会退会の際は、退会される年度の年会費の納入をお願いしておりますので、お知りおきください。

日本生涯スポーツ学会事務局(学会入会及び年会費の問い合わせ)

〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1丁11番1号 関西大学 人間健康学部 彦次研究室
e-mail: jp.lifelong.sport@gmail.com 担当者: 彦次 佳

【新入会員紹介】2024年4月1日～2025年3月31日現在 理事会承認分

虞 聰(大阪体育大学)

小林 志保(大阪成蹊大学教育学部)

佐名木 宗貴(関西大学人間健康研究科)

高尾 将幸(東海大学体育学部)

野仲 賢勝(順天堂大学大学院スポーツ健康科学研究科)

端岡 里紗(大阪体育大学大学院スポーツ科学研究科)

久湊 太雅(福岡大学スポーツ科学部)

平野 菜都美(一般社団法人ファジアーノ岡山スポーツクラブ指定管理部)

松本 大佑(桃山学院大学スポーツ教育センター)

安永 太地(早稲田大学スポーツ科学学術院)

渡邊 裕也(日本経済大学健康スポーツ経営学科/キャリアサポートセンター)

(五十音順、敬称略)

日本生涯スポーツ学会
Japanese Society of Lifelong Sports

Home 学会概要 入会案内 学会大会 学会誌 会報 会員専用 お問い合わせ



【編集 日本生涯スポーツ学会 広報委員会】

日本生涯スポーツ学会事務局

〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1丁11番1号
関西大学 人間健康学部 彦次研究室
E-mail: jp.lifelong.sport@gmail.com HP: <https://jsls.jp>